

## 平成29年 市職員への年頭訓示

みなさん、新年明けましておめでとうございます。

新しい年を、皆さんも清々しい気持ちで、迎えられたことと思います。

今年は、来る3月12日に市制施行10周年を迎えます。

この10年間、無事に市政を進めてこられましたのも、職員の皆さんが、それぞれの持ち場で力を合わせて職務に取り組んでいただいたお陰と、大変感謝をいたしております。

さて、この10年を振り返りますと、新市木津川市の礎を築くために、新庁舎の建設をはじめ、長年の懸案でありましたクリーンセンターの着工、また新設小中学校の開校や、避難所でもあります小中学校の耐震改修や、そして待機児童対策など、他にも数多くの課題に職員の皆さんとともに一丸となって取り組んでまいりました。

また、市の活力の創造に向けた企業誘致や市の魅力の発信にも取り組みました。特にまちづくり事業であります「木津川アート」も昨年には5回目を数えるまで継続して開催することができました。

毎回、ご協力いただいた開催地の皆様をはじめ来場者の皆様にも大変好評をいただき、市民の皆様の間にも定着してきたものと考えております。

一方で、事業仕分けや水道料金の見直しなど行財政改革の推進によります経費節減の取り組み、また、合併算定替えによります地方交付税の段階的減額に備えた逡減対策基金の積み立てなど、10年先を見据えた行財政改革にも取り組んでまいりました。

職員の皆さんには、多くの困難な課題解決にも熱心に取り組んでいただき、今日の木津川市を築くことができました。そして、その努力の甲斐もあり記念すべき10周年を迎えることができたものと、実感しております。

来る3月12日には、皆さんと一緒に市制10周年記念式典を喜びたいと思います。

そして、次の時代に向けた市民満足度の向上と、新たな行政課題の解決に取り組むとともに、更なる行財政改革を行い、「子や孫の世代に付けを残さない健全財政のまちを引き継ぐ」という、市民の皆様の負託に応えていきたいと思っています。

そのためにも、管理職の皆さんには、今一度気を引き締めていただき、社会の動きを的確につかみ、市の施策を十分理解し、そして、木津川市全体を考え、日々の職務に取り組んでください。

また、各所属におきまして職員の習熟度の向上、人材の育成に取り組んでいただきたいと思います。

木津川市にとりまして一番大切な財産は、人です。そして、市役所では職員の皆さんです。皆さんには、ぜひ次代を担うすばらしい職員を育てるという役割を意識していただき、日々職務に取り組んでください。よろしく願いいたします。

私自身も、任期の折り返しを迎える年となりますことから、今一度、気を引き締めて職責を果たして参りたいと考えております。

今年は、<sup>とり</sup>酉年です。「酉」という漢字は、「酒」に関する字に使われています。

収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表しているそうです。

そして、果実が成熟した状態を表しているという意味も込められているそうです。

結びに、今年が皆さんにとりまして、素晴らしい果実が収穫できる幸多い

年になりますことと、木津川市の更なる飛躍を祈念いたしまして、年頭の訓示といたします。

平成29年1月4日

木津川市長 河井 規子